

図 16 回答者(医療スタッフ)の職種

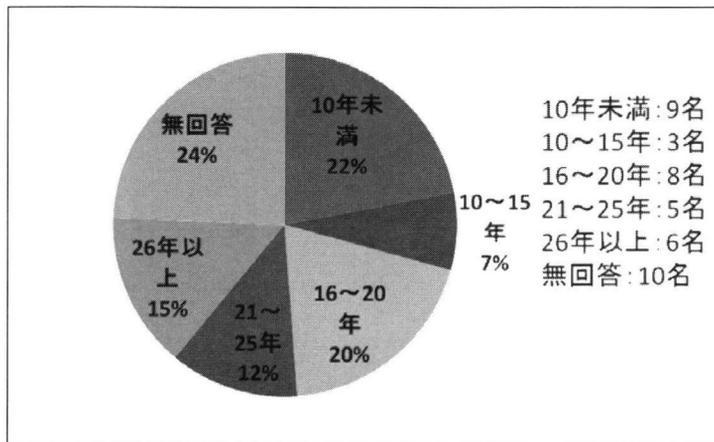


図 17 回答者(医療スタッフ)の経験年数

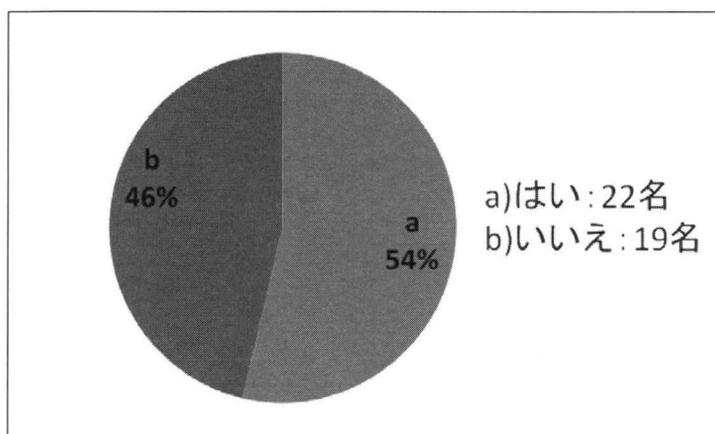


図 18 患者からの相談を受けたことがあるか

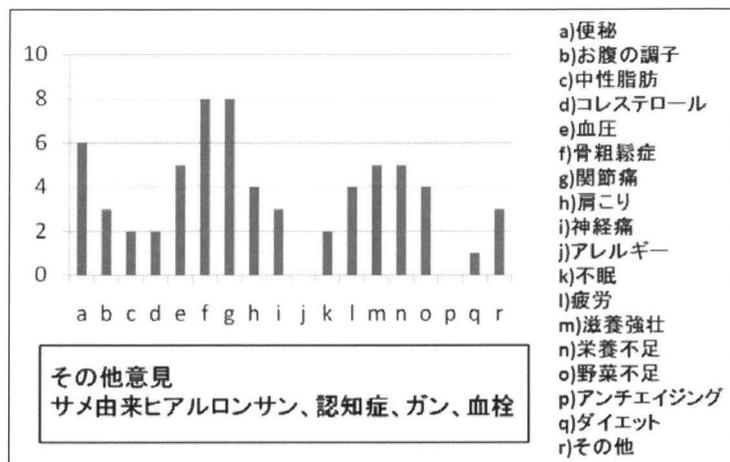


図 19 相談を受けた具体的な症状・状態

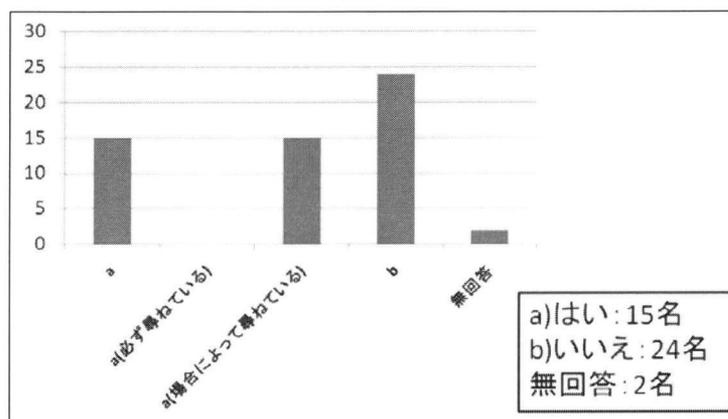


図 20 患者に健康食品・サプリメント使用について尋ねることがあるか

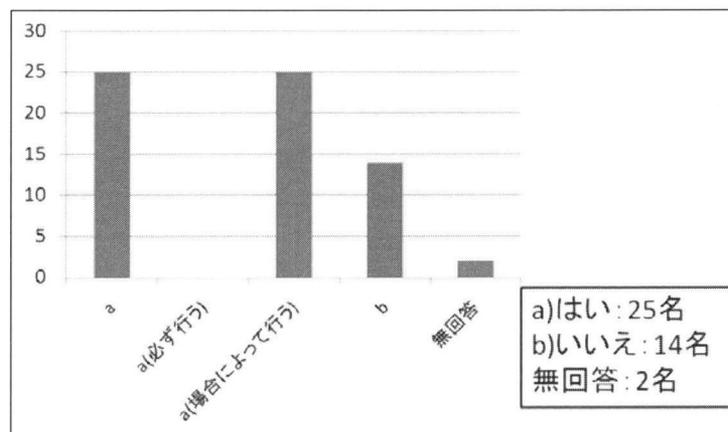


図 21 サプリメントや食事についてのアドバイス

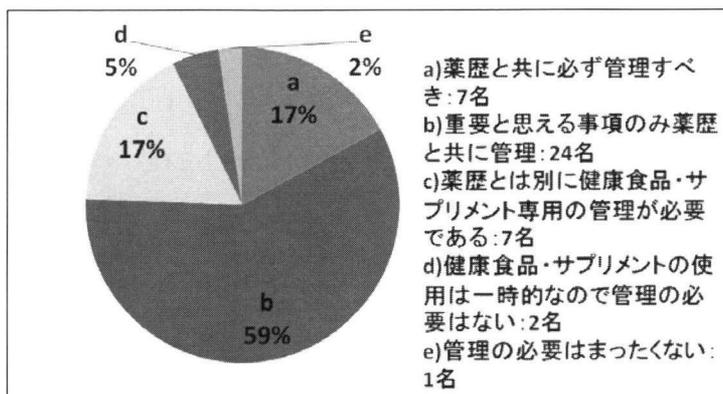


図 22 健康食品・サプリメント情報の管理

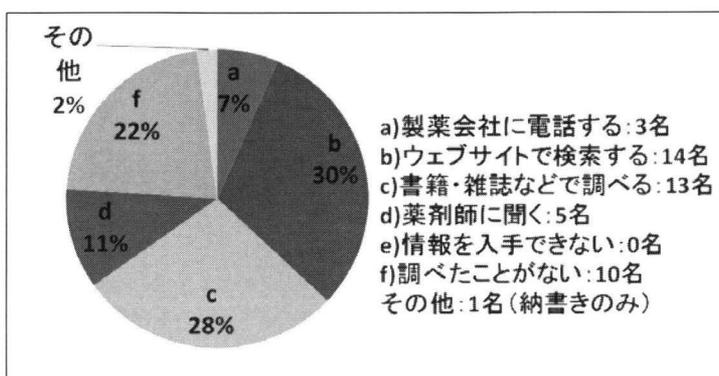


図 23 健康食品・サプリメントの成分・原料に関する情報の調べ方

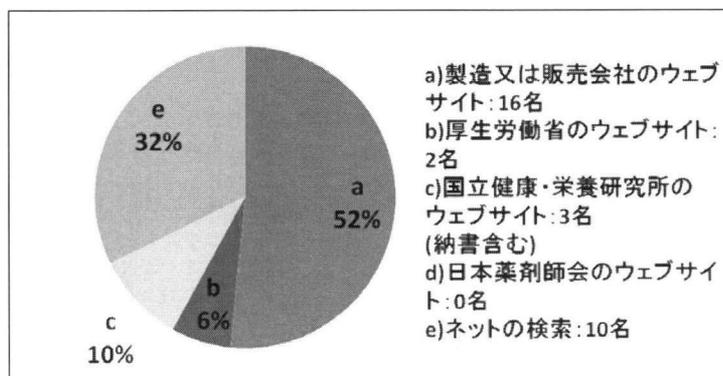


図 24 よく利用するウェブサイト

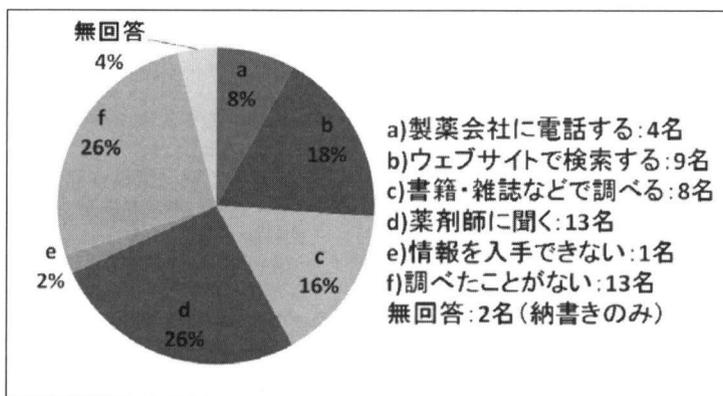


図 25 医薬品との相互作用に関する情報の調べ方

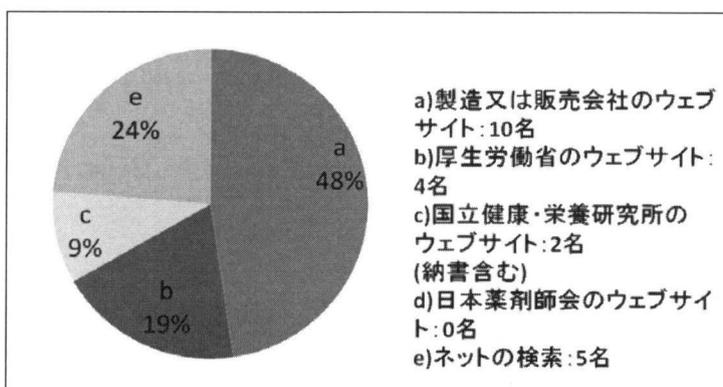


図 26 よく利用するウェブサイト

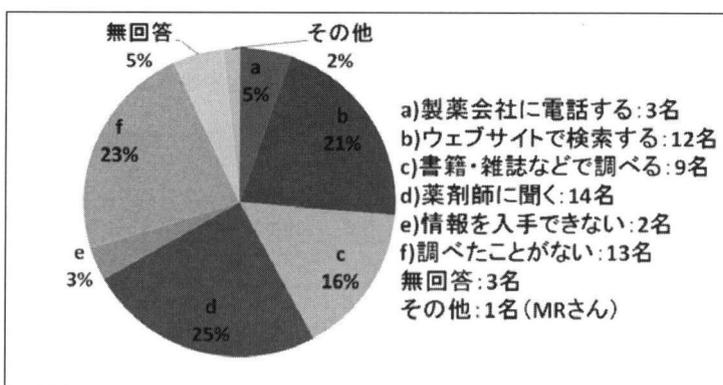


図 27 副作用などの安全性に関する情報の調べ方

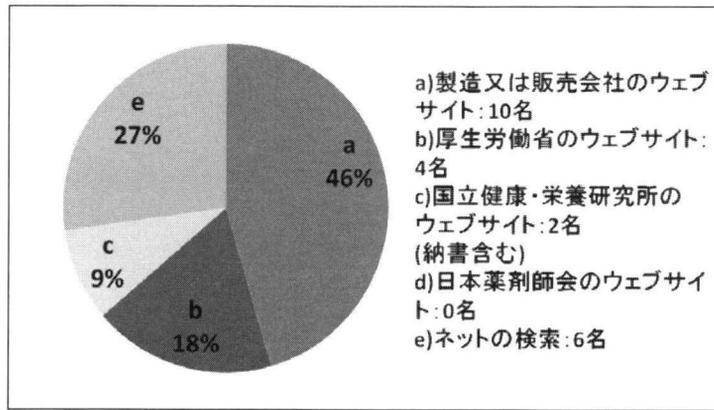


図 28 よく利用するウェブサイト

患者対象のアンケート

アンケートのお願い

近年、健康食品・サプリメントが社会に浸透しつつあり、その影響が取りざたされています。また、本年度より「健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保の研究」も実施されています。この度、この研究に協力することになりました。つきましてはお忙しいところ恐縮に存じますが、健康食品・サプリメントに関するアンケートにご協力頂きたいようお願い申し上げます。

- 1、性別(男・女)
 - 2、年齢()歳
 - 3、透析歴(年 月)または導入年月日(年 月)
 - 4、健康食品・サプリメントを使用したことがありますか？
 - a)現在使用中 b)以前使用していたが今は中止 c)使用した事はない
 - 5、医療スタッフ(医師・看護師・薬剤師など)から健康食品・サプリメント使用の有無について尋ねられた事がありますか？(ある・ない)
 - 6、健康食品・サプリメントには医薬品のように副作用はありますか？
 - a)副作用はない b)品目により副作用がある c)わからない d)考えた事もない
 - 7、医薬品との相互作用(飲み合わせ)についてはどうでしょうか？
 - a)相互作用はない b)一部にある c)わからない d)考えた事もない
 - 8、安全性の情報はどのように調べますか？(複数回答可)
 - a)製造会社に電話する b)ウェブサイトで検索する c)書籍・雑誌などで調べる
 - d)友人・親戚などに訊く e)医療スタッフに訊く f)調剤薬局に訊く
 - g)情報を入手できない h)調べた事がない
 - 9、質問8で「b)ウェブサイトで検索する」と答えた方にお尋ねします。

どのサイトを見ますか？(複数回答可)

 - a)製造又は販売会社のウェブサイト b)厚生労働省のウェブサイト
 - c)国立健康・栄養研究所のウェブサイト d)日本薬剤師会のウェブサイト
 - e)ネットの検索(Google など)
- ★質問4で、「現在使用中」または「以前使用していたが今は中止」と答えられた方は以下の質問にご協力をお願いいたします。
- 10、使用するにあたって、医療スタッフに相談しましたか？(相談した・しなかった)
 - 11、どのような目的で使用しましたか？(複数回答可)
 - a)便秘 b)お腹の調子 c)中性脂肪 d)コレステロール e)血圧 f)骨粗鬆症 g)関節痛 h)肩こり i)神経痛 j)アレルギー k)不眠 l)疲労 m)滋養強壮 n)栄養不足 o)野菜不足 p)アンチエイジング q)ダイエット r)その他()
 - 12、健康食品・サプリメントの品名または内容()
 - 13、効果はありましたか？(はい・いいえ)
 - 14、どのようなきっかけでその健康食品・サプリメントを知りましたか？(複数回答可)
 - a)TV・ラジオ、新聞・雑誌などの広告 b)患者会情報誌 c)他の患者からの紹介
 - d)家族・親戚・友人からの紹介 e)医師の指示 f)その他()

ご協力ありがとうございました。

スタッフ対象のアンケート

☆ アンケートのお願い ☆

近年、健康食品・サプリメントが社会に浸透しつつあり、その影響が取りざたされています。また、本年度より「健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保の研究」も実施されています。この度、この研究に協力することになりました。つきましてはお忙しいところ恐縮に存じますが、健康食品・サプリメントに関するアンケートにご協力頂きたいお願い申し上げます。

- 1、性別(男・女) 2、年齢()歳
- 3、職種(医師・看護師・臨床工学技士・栄養士)4、その職種の経験年数(年)
- 5、患者さんから健康食品・サプリメント使用について相談された事がありますか？
 - a) はい b) いいえ
- 6、相談を受けた具体的な症状・状態にはどんなものがありましたか？(複数回答可)
 - a)便秘 b)お腹の調子 c)中性脂肪 d)コレステロール e)血圧 f)骨粗鬆症 g)関節痛 h)肩こり i)神経痛 j)アレルギー
 - k)不眠 l)疲労 m)滋養強壮 n)栄養不足 o)野菜不足 p)アンチエイジング q)ダイエット
 - r)その他()
- 7、患者さんに健康食品・サプリメント使用について尋ねることがありますか？
 - a) はい(必ず尋ねている・場合によって尋ねている) b) いいえ
- 8、処方薬の説明・指導と共にサプリメントや食事についてアドバイスはされますか？
 - a) はい(必ず行う・場合によって行う) b) いいえ
- 9、健康食品・サプリメントについても服薬歴のように管理すべきでしょうか？
 - a) 薬歴と共に必ず管理すべき b) 重要と思える事項のみ薬歴と共に管理すべき
 - c)薬歴とは別に健康食品・サプリメント専用の管理が必要である
 - d) 健康食品・サプリメントの使用は一時的なので管理の必要はない
 - e) 管理の必要はまったくない
- 10、健康食品・サプリメントの成分・原料に関する情報をどこから手に入れますか？
 - a)製造会社に電話する b)ウェブサイトで検索する c)書籍・雑誌などで調べる d)薬剤師に訊く
 - g)情報を入手できない h)調べた事がない
- 11、質問 10 で「b)ウェブサイト」と答えた方にお尋ねします。
どのサイトを見ますか？(複数回答可)
 - a)製造又は販売会社のウェブサイト b)厚生労働省のウェブサイト c)国立健康・栄養研究所のウェブサイト
 - d)日本薬剤師会のウェブサイト e)ネットの検索
- 12、医薬品との相互作用に関する情報はどのように調べていますか？
 - a)製造会社に電話する b)ウェブサイトで検索する c)書籍・雑誌などで調べる d)薬剤師に訊く
 - g)情報を入手できない h)調べた事がない
- 13、質問 12 で「b)ウェブ」と答えた方にお尋ねします。どのサイトを見ますか？(複数回答可)
 - a)製造又は販売会社のウェブサイト b)厚生労働省のウェブサイト c)国立健康・栄養研究所のウェブサイト
 - d)日本薬剤師会のウェブサイト e)ネットの検索
- 14、副作用などの安全性に関する情報はどのように調べていますか？(複数回答可)
 - a)製造会社に電話する b)ウェブサイトで検索する c)書籍・雑誌などで調べる d)薬剤師に訊く
 - g)情報を入手できない h)調べた事がない
- 15、質問 14 で「b)ウェブ」と答えた方にお尋ねします。どのサイトを見ますか？(複数回答可)
 - a)製造又は販売会社のウェブサイト b)厚生労働省のウェブサイト c)国立健康・栄養研究所のウェブサイト
 - d)日本薬剤師会のウェブサイト e)ネットの検索

☆ ご協力ありがとうございました。 ☆

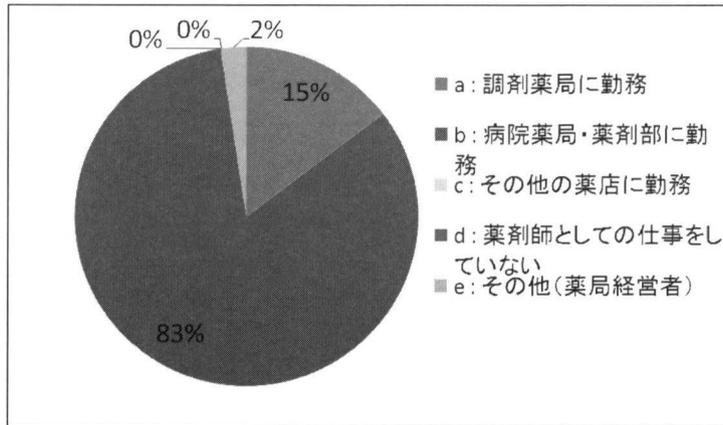


図 29 勤務形態

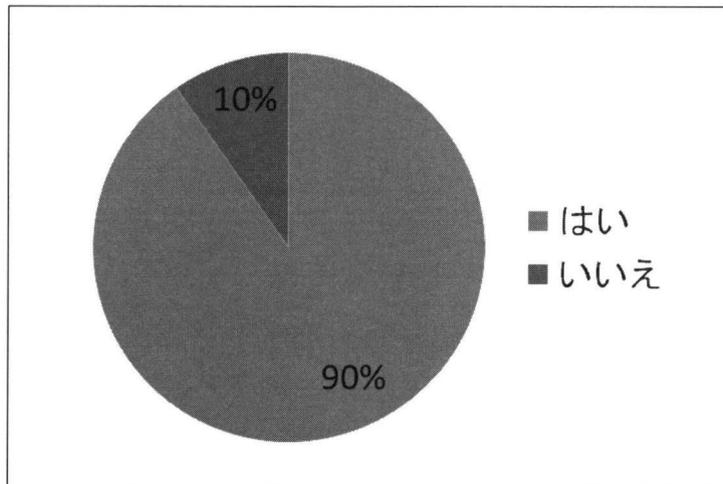


図 30 患者からの問い合わせを受けたことがあるか

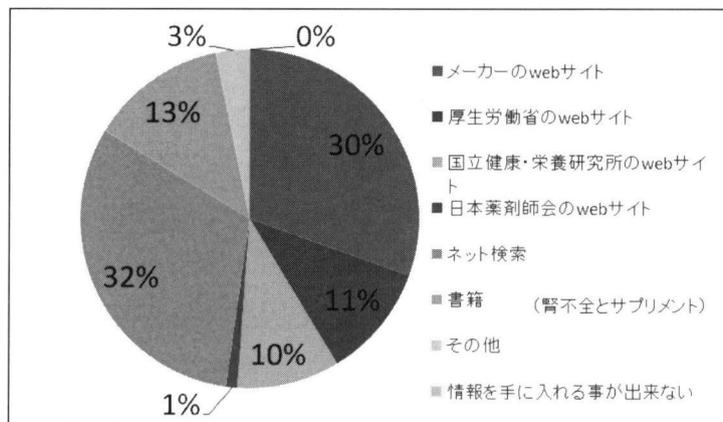


図 31 健康食品・サプリメントの原料・成分情報の調べ方

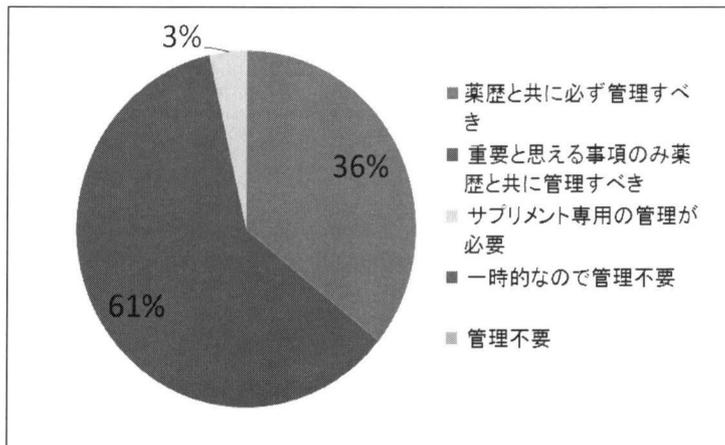


図 35 健康食品・サプリメント情報の管理

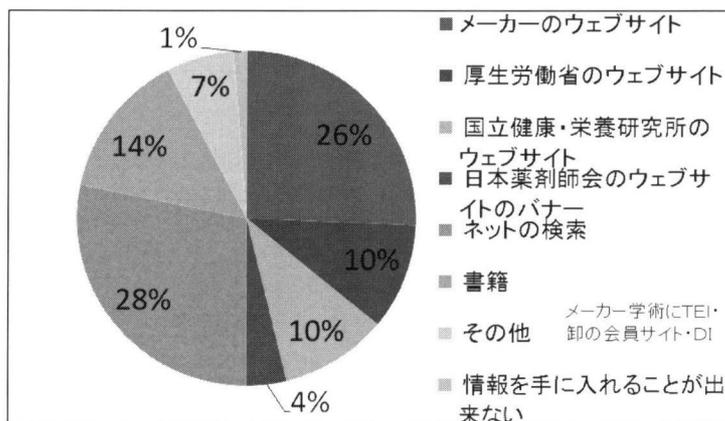


図 36 相互作用に関する情報の調査方法

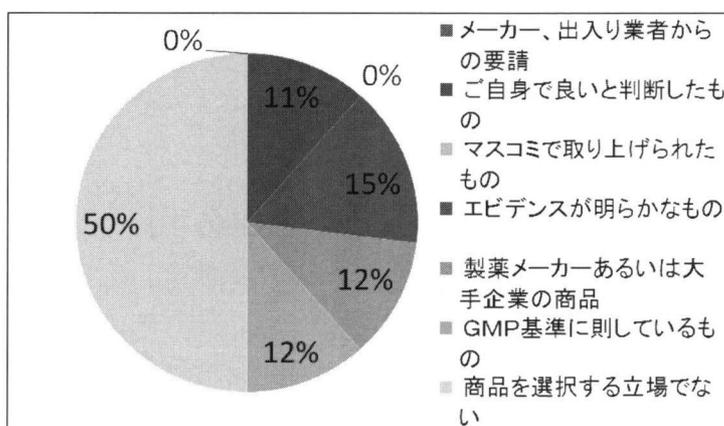


図 37 薬局に置く商品の選択理由

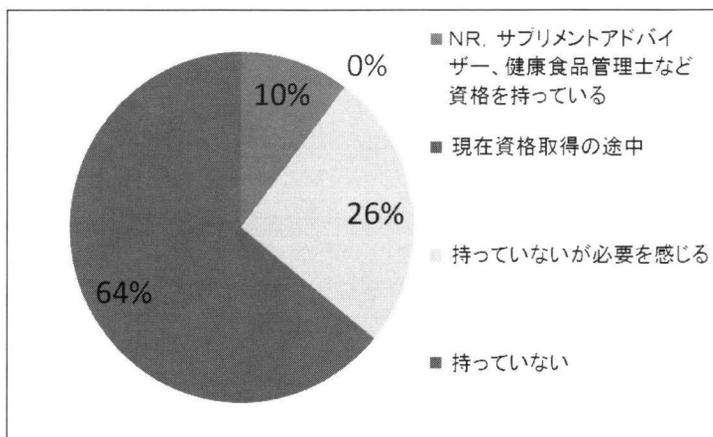
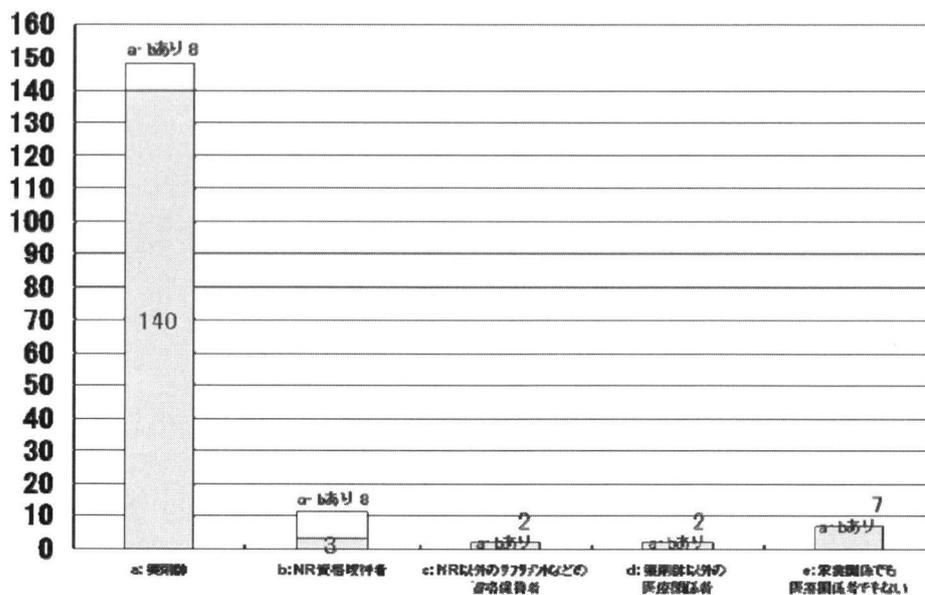


図 38 健康食品・サプリメントに関連する資格の有無

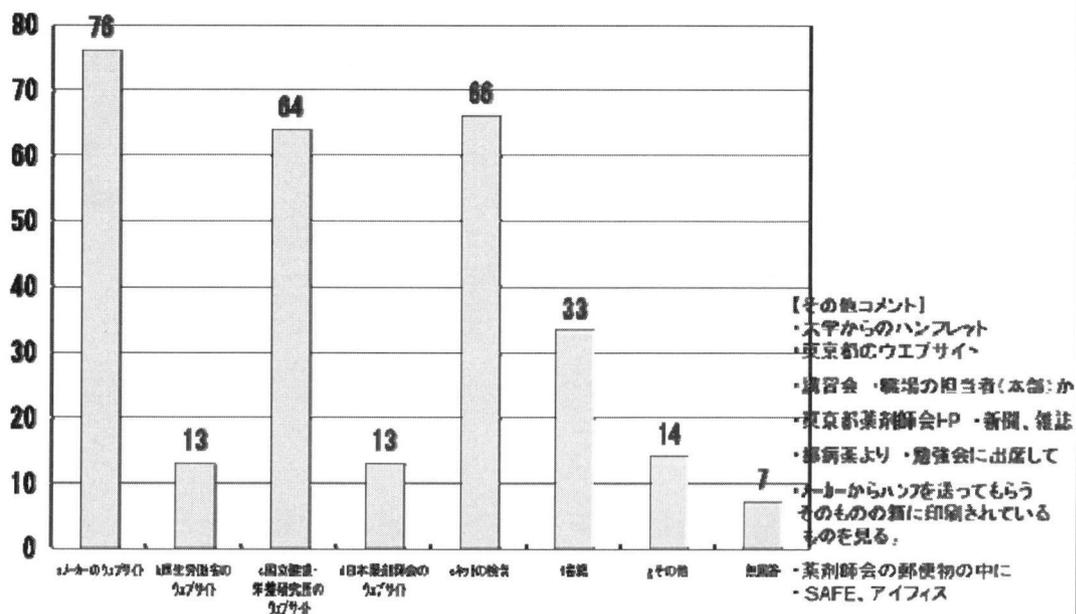
- 成分表記がいい加減
- 国などの機関で取り締まって欲しい
- 効果があるか怪しい
- 患者に聞かれても答えようがない
- セルフメディケーションの弊害、相互作用の情報集めに苦勞する
- サプリ等の知識の重要性を感じるが実行に移せない現状。腎臓領域で特に重要

図 39 健康食品・サプリメントに対する意見や感想

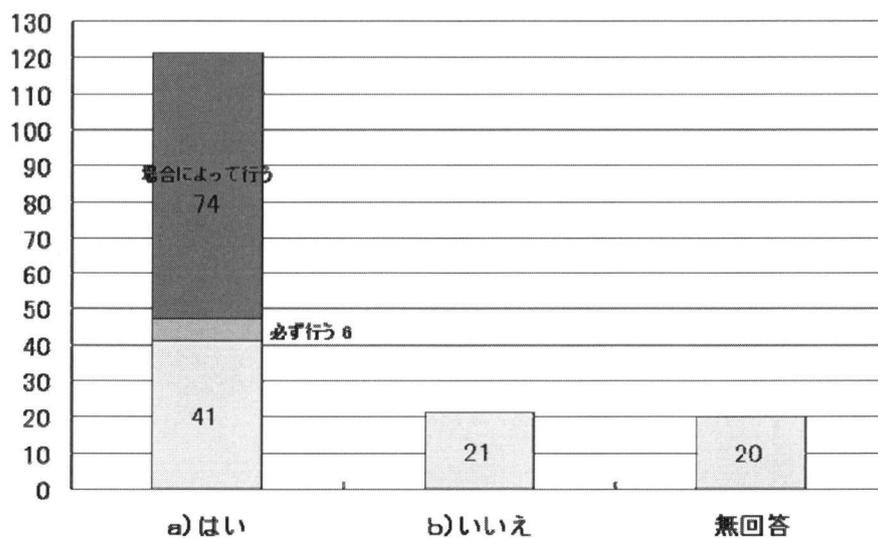
1. あなたのお仕事について



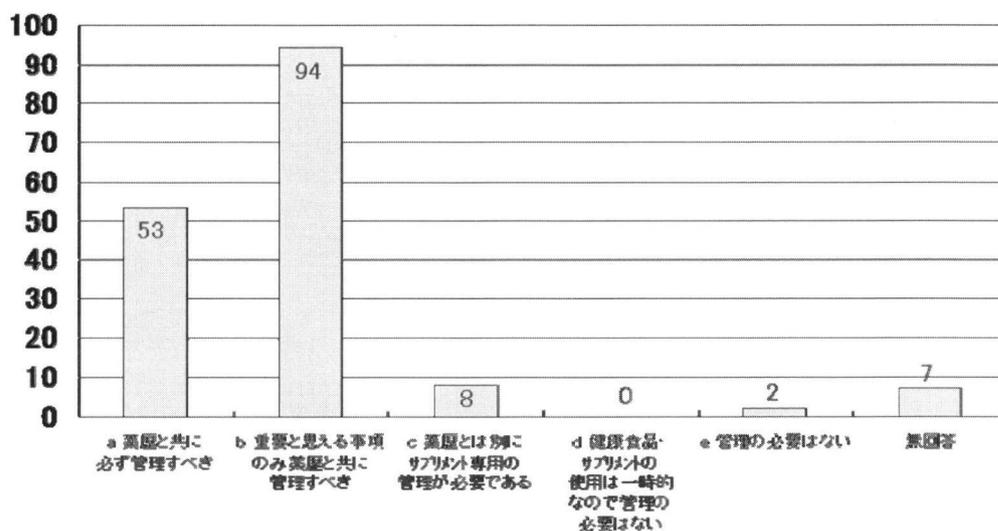
2. 健康食品・サプリメントの成分・原料に関する情報を どこから手にいれていますか？（複数選択可）



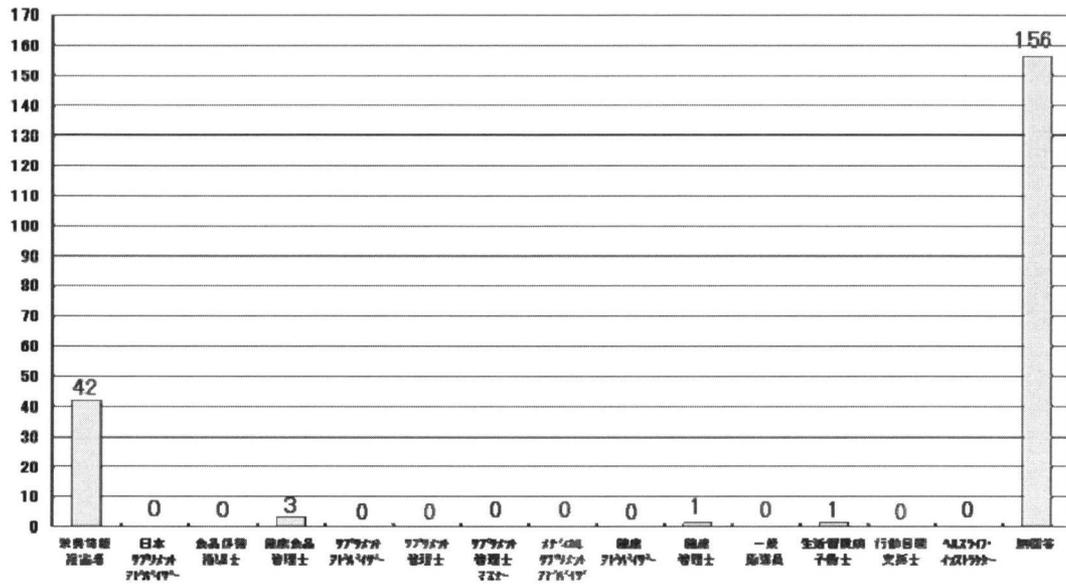
5. 処方薬の服薬指導と共にサプリメントや食事についてアドバイスはされていますか？



6. 健康食品・サプリメントについても薬歴のように薬局で管理すべきでしょうか？



9. 健康食品・サプリメントに関連する資格（認定団体）
を何かもっていらっしゃいますか？



厚生科学研究費補助金(食品の安心・安全確保推進研究事業)

(分担)研究報告書

健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保に関する研究

健康食品の評価法と利用実態に関する研究

研究分担者 信川 益明 慶應義塾大学医学部東京電力先端医療科学・環境予防医学寄付講座

研究協力者 林 裕造 財団法人日本健康・栄養食品協会

加藤 博 財団法人日本健康・栄養食品協会健康食品部

岩浪 恒平 財団法人日本健康・栄養食品協会 教育研修部

福本 成子 財団法人日本健康・栄養食品協会 特定保健用食品部

齋藤 悠子 財団法人日本健康・栄養食品協会 健康食品部

吉野 秀朗 杏林大学医学部循環器内科

野地 有子 防衛医科大学校看護学教育部設立準備室

平形 道人 慶應義塾大学医学部医学教育統括センター

長谷川直樹 慶應義塾大学医学部 呼吸器内科

丹羽 正幸 社団法人新宿区医師会、医療法人社団丹伎会

平野 孝和 医療法人社団千禮会

信川 敏子 医療法人社団千禮会

團 茂樹 宇部内科小児科医院

立川 弥香 駿河台日本大学病院循環器科

関本 邦敏 日本食品保健指導士会

喜代 幸平 NPO法人レ・ザミ・ドウ・キュルノンスキー・ジャパン

浜野 弘昭 ダニスコジャパン株式会社学術・技術担当

永留 佳明 ハウス食品株式会社ソマテックセンターグループ

土田 博 明治乳業株式会社技術開発研究所

荻原 葉子 味の素株式会社品質保証部

川手 雄二 明治製菓株式会社健康事業商品企画部

笠井 哲 キャドバリー・ジャパン株式会社科学技術本部

坂間 厚子 カルピス株式会社品質保証部

安部達一郎 日清オイリオグループ株式会社中央研究所

赤染 陽子 アサヒビール株式会社コーポレート研究開発本部食の研究所

川上 智美 森永乳業株式会社栄養科学研究所食品臨床研究部

研究要旨

我が国における11のアドバイザースタッフ認定講座に関して調査検討した。また、健康食品の評価、健康食品の評価法に関して調査検討した。健康食品調査に関する検討委員会を設置して調査方法に関して検討した。

その結果、認定講座を分類A～分類Dの4つに分類した。アドバイザースタッフに求められる要件を踏まえた認定講座は、分類Aの4つの認定講座が該当していた。認定講座により、「食生活」「栄養学に基礎」「健康食品」「医薬品」「疾病」「法令・法規」「食品衛生」「商品開発」「品質・製造管理」「表示」「消費者対応」に関して、テキストの頁数に違いが認められた。

アドバイザースタッフ認定講座の調査分析結果は、アドバイザースタッフ養成教育の充実及び消費

者へとつながるものと思われる。また、消費者が健康食品に関する正しい情報を提供され、適切な選択を行うことができるためには、健康食品の評価、健康食品の評価法に関する研究推進が急務である。さらに、消費者に理解・納得される情報提供と、その検証を行うことが必要である。

A. 研究目的

健康食品に関する間違っただ情報は、消費者を混乱させ、国の保健行政の障害となっている。国は保健機能食品制度を創設して、有効性・安全性が科学的に評価された健康食品とそれ以外の「いわゆる健康食品」が区別できるような取り組みを行ってきたが、その制度と内容は消費者には十分に理解されていない。

一方、国内の団体・機関も、健康食品の安全性確保に向けた取り組みとして、アドバイザースタッフ等の人員の養成・認定等を個別に実施してきたが、多様な人員の養成・認定が行われているため、逆に消費者を混乱させている状況もでてきた。そのため、類似団体が相互に連携して健康食品の問題に対して包括的な取り組みを行う体制整備が必要になってきた。

「健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保に関する研究」では、健康食品の問題に取り組んできた各団体が保持しているシステム・経験・知識を最大限に活用し、既存の『健康食品』の安全性・有効性情報データベースの拡充、ならびにその情報の消費者に対する効果的な提供法に関する検討を行っている。

「健康食品の評価法と利用実態に関する研究」では、アドバイザースタッフ養成教育を考えるに当たり、現在の我が国におけるアドバイザースタッフ認定講座に関して調査検討することが必要である。また、消費者が健康食品に関する正しい情報を提供され、適切な選択を行うことができるためには、健康食品の評価、健康食品の評価法に関する検討が急務である。

B. 研究方法

本研究では、日本における健康食品を取り巻く環境を踏まえて、

1. アドバイザースタッフ認定講座の調査

アドバイザースタッフ養成教育に関する検討委員会を設置し、主な 11 講座に関して調査、

分析を行った。調査項目は、認定講座、認定目的、講座概要、認定資格名、受講資格、受講形態、受験資格、認定試験、更新制度、費用、テキストなどであり、比較分析を行った。健康食品の現状と課題(健康食品の安全性と有用性)について検討した。

2. 健康食品の評価、健康食品の評価法に関する調査

健康食品の規格基準に関する日本および海外の状況、日本における規格基準の実例を紹介した。健康食品の規格基準の役割として安全性の確保は極めて重要である。

健康食品の評価に関する検討委員会を設置し、GMP (Good Manufacturing Practice: 適正製造規範) の概念・認定制度・運用の実際・課題と今後の方向等について検討した。健康食品の安全性、健康食品の有効性について検討した。第三者認証制度、健康食品認証制度協議会、健康食品の第三者認証機関、第三者認証制度の普及・啓発等について検討した。健康食品制度に関する国際動向として、諸外国における健康食品制度、コーデックスにおける健康食品の位置づけ等について検討した。

3. 健康食品調査

健康食品調査に関する検討委員会を設置する。

C. 研究結果

1. アドバイザースタッフ養成教育

1) 認定講座(分類別)

11 認定講座を、独自に作成した下記の分類基準に基づいて、分類 A～分類 D の 4 つに分類した。表 1 は、認定講座(分類別)を示している。

(分類基準)

分類 A: 資格取得には一定の能力が求められ、かつ受験を必要とするもの

分類 B: 資格取得には一般の生活者の取得も可能で、受験を必要とするもの

分類 C: 資格取得には一般の生活者の取得も可能で、通信講座受講だけのもの

分類 D: 資格団体が会員の研鑽を目的として行っているもの

分類 A は、栄養情報担当者(No.1)、サプリメントアドバイザー<臨床栄養協会>(No.2)、食品保健指導士(No.3)、健康食品管理士(No.4)であった。

分類 B は、サプリメント管理士マスター(No.5)、ヘルスケアアドバイザー(No.10)、健康食品コーディネーター(No.11)であった。

分類 C は、サプリメント管理士(No.5)、サプリメントアドバイザー<日本ニュートリション協会>(No.7)、食生活管理士(No.12)、サプリメントコーディネーター(No.13)であった。

分類 D は、認定サプリメントアドバイザー(No.18)であった。

2) 認定講座概要

表 2 は、11 の認定講座の認定目的、受講資格、受験資格、講座概要、費用、更新制度等を示している。

3) テキストの比較

表 3 は、11 の認定講座のテキストの比較一覧である。

但し、食品保健指導士は、従来のテキストの内容であり、食品保健指導士(新)は、平成 22 年 1 月に発刊された「食品保健の科学」の内容である。

① 栄養情報担当者(NR)のテキスト内容

表 4 の No.1 は、栄養情報担当者(NR)のテキスト内容を示している。

大項目、小項目、頁数、カテゴリー、キーワード、執筆者・監修者にて示している。

② 日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー認定機構のテキスト内容

表 4 の No.2 は、日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー認定機構のテキスト内容を示している。

③ 食品保健指導士(新)及び食品保健指導士のテキスト内容

表 4 の No.3 は、食品保健指導士(新)及び食品保健指導士のテキスト内容を示している。

④ 健康食品管理士のテキスト内容

表 4 の No.4 は、健康食品管理士のテキスト内容

を示している。

⑤ サプリメント管理士マスターのテキスト内容

表 4 の No.5 は、サプリメント管理士マスターのテキスト内容を示している。

⑥ サプリメントアドバイザーのテキスト内容

表 4 の No.7 は、サプリメントアドバイザーのテキスト内容を示している。

⑦ ヘルスケアアドバイザーのテキスト内容

表 4 の No.10 は、ヘルスケアアドバイザーのテキスト内容を示している。

⑧ 健康食品コーディネーターのテキスト内容

表 4 の No.11 は、健康食品コーディネーターのテキスト内容を示している。

⑨ 食生活管理士のテキスト内容

表 4 の No.12 は、食生活管理士のテキスト内容を示している。

⑩ サプリメントコーディネーターのテキスト内容

表 4 の No.13 は、サプリメントコーディネーターのテキスト内容を示している。

⑪ 認定サプリメントアドバイザーのテキスト内容

表 4 の No.18 は、認定サプリメントアドバイザーのテキスト内容を示している。

2. 健康食品の評価、健康食品の評価法に関する調査

GMP(Good Manufacturing Practice)の概念・認定制度・運用の実際・課題と今後の方向、健康食品の安全性、健康食品の有効性、第三者認証制度、健康食品認証制度協議会、健康食品の第三者認証機関、第三者認証制度の普及・啓発、健康食品制度に関する国際動向として、諸外国における健康食品制度、コーデックスにおける健康食品の位置づけ等について調査した。

3. 健康食品調査

健康食品調査に関する検討委員会を設置し、子供の健康食品の調査、及び妊産婦の健康食品に関する調査について検討した。

D. 考察

1. アドバイザリースタッフ養成教育

1) アドバイザリースタッフ要件と認定講座

「保健機能食品に係るアドバイザリースタッフの養成に関する基本的な考え方について」及び「保

健機能食品に係る指導・相談専門家の育成及び指導・相談体制の整備のあり方に関する調査研究(平成12年総括研究報告)に記述されているアドバイザースタッフに求められる要件を踏まえた認定講座は、表1、表2の内容を分析した結果、分類Aが該当すると考えられた。

2) テキスト比較

表3テキスト比較一覧、及び表4テキストの内容より、分類Aに関して内容を大項目で比較した。

「食生活」では、食品保健指導士が頁数が多い。「栄養学に基礎」では、健康食品管理士が頁数が多い。「健康食品」では、食品保健指導士、健康食品管理士が頁数が多い。「医薬品」では、サプリメントアドバイザー(臨床)、健康食品管理士が頁数が多い。「疾病」では、健康食品管理士が頁数が多い。

「法令・法規」「食品衛生」「商品開発」「品質・製造管理」「表示」では、食品保健指導士が頁数が多い。

「消費者対応」では、サプリメントアドバイザー(臨床)が頁数が多い。

2. 健康食品の評価、健康食品の評価法

健康食品の評価、健康食品の評価法に関して調査し、検討した。

E. 結論

我が国におけるアドバイザースタッフ認定講座に関して調査検討した。健康食品の評価、健康食品の評価法に関して調査検討した。健康食品調査に関する検討委員会を設置して調査方法に関して検討した。

アドバイザースタッフに求められる要件を踏まえた認定講座は、4つの認定講座が該当すると考えられた。

認定講座により、「食生活」「栄養学に基礎」「健康食品」「医薬品」「疾病」「法令・法規」「食品衛生」「商品開発」「品質・製造管理」「表示」「消費者対応」に関して、テキストの頁数に違いが認められた。

健康食品の開発・製造・販売業者、試験実施医療機関、評価者(第三者)は、GMP認定制度などの実施・遵守と正しい評価を心がけ、科学的に検

証された情報提供が不可欠である。

健康食品の利用者は、公開された情報を正しく理解し、適切に利用できるように必要な知識を持つことが望まれる。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 信川益明:第7章 食品保健と医療科学. 食品保健の科学. 細谷憲治, 林裕造, 上野川修一監修, 東京, 丸善, 2010.

2) 信川益明(責任編集):健康食品. 保健機能食品制度. 特定保健用食品. 栄養機能食品. JHFAマーク表示許可食品. 特別用途食品. 強化食品. 健康強調表示. ヘルスクレーム. コーデックス食品規格委員会. Good Manufacturing Practice. 食品保健指導者. Contract Research Organization. Site Management Organization. Clinical Research Coordinator. 日本健康・栄養食品協会. Nutrition Care Management. 看護大事典 第2版. 和田攻・南裕子・小峰光博 総編集, 信川益明(医療社会学)他87名 責任編集, 東京, 医学書院, 2010.

2. 学会発表

信川益明(特別講演):生活密着型の高齢者向け見守りネットワークについて～背景、現状の課題、将来展望～。「都市型高齢者向け見守りネットワーク:生活支援・医療連携・生きがいづくり実現とIT」HOSPEX Japan 2009, 東京, 2009年11月13日.

信川益明, 丹羽正幸, 平澤精一, 平野誠一郎:社団法人新宿区医師会医療生活機能研究会設立と活動報告. 第33回新宿区医師会医学懇話会, 東京, 2009年12月5日.

信川益明:健康食品の評価法及び消費者に理解頂くためのアドバイザースタッフの教育. シンポジウムII「消費者が理解、納得する健康食品の情報提供について」第10回日本健康・栄養システム学会, 2010.

3. その他

なし